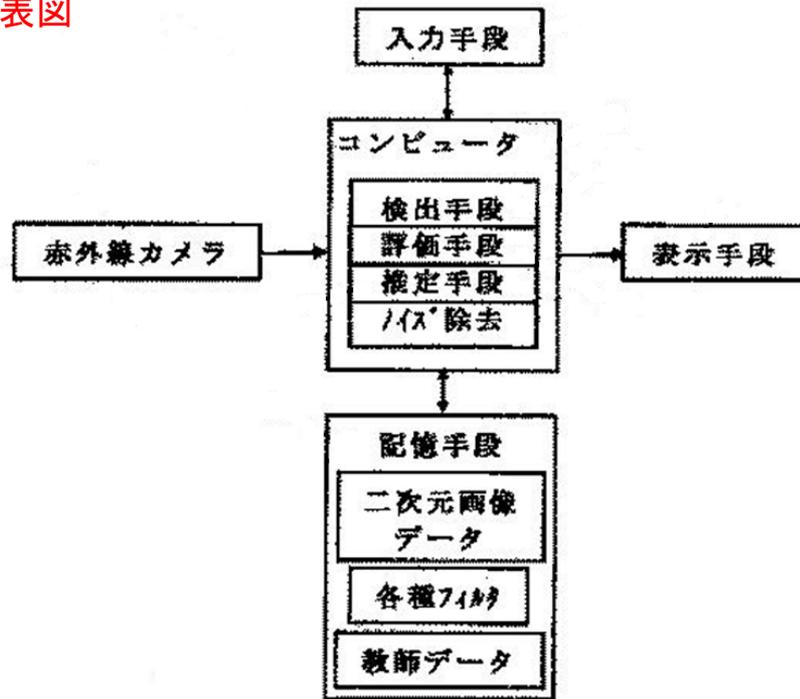


発明の名称	物体内変状部分検出装置		
出願人/権利人	今西 直人	発明者	今西 直人
出願日	平成28年5月11日	出願番号	2016-107888
公開番号	2017-203761	特許番号	6788161
法的状態	登録中		

## 代表図



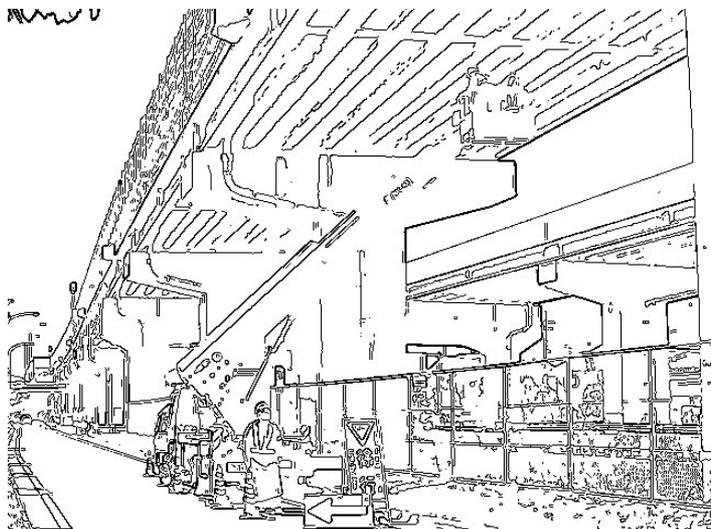
## 発明の概要

空間的特性を物体の表面温度分布又は画像に基づいて検出する装置

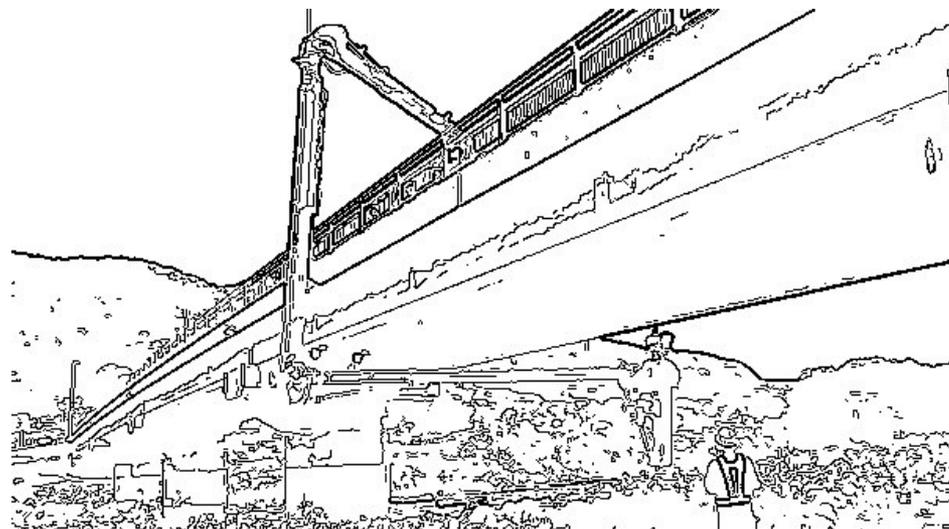
## 特徴

物体内部変状部分検出装置は、物体の表面温度分布を用いて物体の表面・内部に存在する変状部分を検出する装置である。表面温度分布の形状を数値で評価し、その評価結果に基づいて表面温度分布のうちの変状部分に起因する温度変異部分を検出する検出手段と、検出された温度変異部分を画面に表示する表示手段を備えたものである。構造物の表面乃至内部に存在する構造的な欠陥部分を人間の経験と感に頼らずに自動的に検出できる。しかも、物体の表面温度分布から構造物内部の欠陥部分を検出するから、橋脚、道路、トンネル等の非破壊検査装置として極めて有用性が高い。

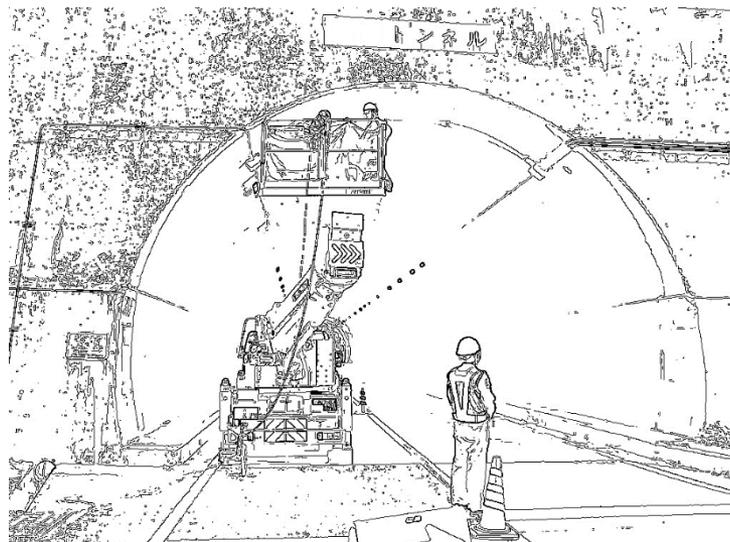
# 応用の可能性



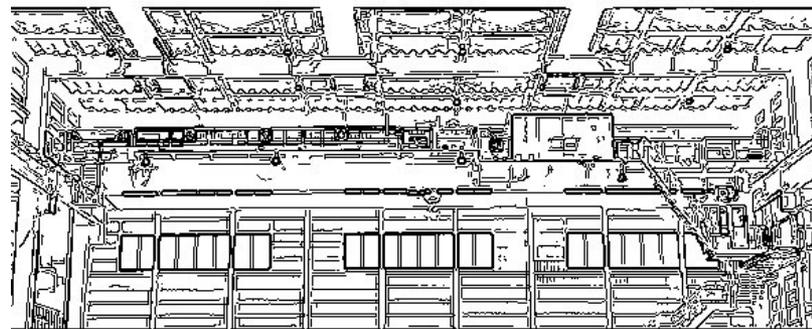
道路検査



橋脚検査



トンネル検査



構造物検査

など

## 応用の可能性

- ・道路検査
- ・橋脚検査
- ・トンネル検査
- ・構造物検査
- など

## 本技術の活用が見込める企業の一例

- ・東洋検査工業株式会社
- ・株式会社ニチゾウテック
- ・住重アテックス株式会社
- ・新日本非破壊検査株式会社
- ・計測検査株式会社
- ・株式会社ケミカル工事
- ・日鉄テクノロジー株式会社
- ・株式会社橋梁検査センター
- ・株式会社横河技術情報
- ・株式会社大検
- ・株式会社第一検査工業
- など

## 今西 直人氏の本発明に関する最新動向

- ・今西 直人氏の本件特許に関連する情報や製品についての情報はインターネット上においては見受けられない。